



船堀中央保育園

にこにこだより 2025年度2月号

大きくなった会を終えて

先日は「大きくなった会」へのご参加、温かい拍手をありがとうございました。当日の挨拶では時間が限られており、お伝えしきれなかった想いやエピソードを、この場を借りて少し綴らせていただきます。当園では発表会のことを「大きくなった会」と呼んでいます。これは単に練習の成果を披露する場ではなく、この1年間の子どもたちの歩みを振り返り「あんなこともできるようになったね」と一緒に成長を喜び合う機会にしたいという想いを込めています。

0歳児・1歳児クラスは、お家の方と一緒に、普段から親しんでいる曲を楽しみました。事前のレクチャー動画を見て練習してくださった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。皆様と一緒に動いてくださったおかげで、会場全体が一体となり、本番はより一層華やかなステージとなりました。2歳児クラスは、ダンスを観てもらおうという経験となり、いつもの服ではなく、特別な「衣装」をまとうことで、子どもたちの表情もどこか誇らしげで、背筋がピンと伸びたような、特別な日になったようです。幼児クラス(3歳～5歳児)は、遊戯、合唱、表現と、演目ごとに衣装も気持ちも切り替え、自分たちが作り上げてきた世界を堂々と発表してくれました。構成上、各クラス3チームに分かれての発表でしたが、子どもたちは自分の曲目以外も興味津々で、他のチームのダンスを互いに見せ合ううちに、いつの間にか全員が全チームの踊りを完璧にマスターしていました。舞台裏で、出番を待つ子が別のチームの曲に合わせて小さく踊っている姿は、本当にかわいらしく、幼児クラスの仲の良さを感じる瞬間でした。なんといっても、今年度は幼児クラスのみんが作った曲を発表しました。楽曲の制作のあゆみについては、Instagramで公開します♪

行事を経て、子どもたちはまた一つ自信をつけたように感じます。この「大きくなった」喜びを大切に、進級・卒園までの残りの日々も一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。



防災について

江戸川区の私立認可保育園園長会では、今年度より「防犯・防災部」が発足されました。現在、地域ごとのブロックに分かれて会議や研修を行い、一つの園や法人だけでなく、地域全体で子どもたちの安全を確保するための連携を深めています。私たちが大切にしたいのは、単に大人が子どもを保護することだけではありません。子どもたち自身が「安全」について考え、自分を守る力を養うことです。その自立心は、やがて「自分の周りの大切な人も守りたい」という優しさや強さへと繋がってほしいと強く願っています。「守られる」から「共に守る」というマインドを育てていきたいと思えます。

今年度、防災部より、子どもたちの安全意識を育むための本をいただきました。園での安全教育や健康教育に活用させていただきます。

●幼児クラス向け『防災のサバイバル』

自然災害や感染症について、クイズ形式で学べる本です。日常の「もしも」を自分事として捉え、考えるきっかけにしていきます。

●乳児クラス向け『クイズでたのしむあんぜんえほん』

小さなお子様でも、絵を通して楽しく「安全」に触れられる内容です。



いただいた本は、1階の絵本コーナー『ゆとりあ』に備え付けております。降園時や待ち時間に、ぜひ親子で手に取ってみてください。「こんな時はどうする？」と親子で会話することが、子どもにとって一番の「守る力」の育成に繋がっていくことを願っています。

2月の予定

3日	節分・鬼行列
4日	身体測定(乳児) 高橋先生来園日
5日	身体測定(幼児) 0歳児健診
13日	造形(5歳児) 保護連勉強会
19日	0歳児健診 スポーツプロジェクト(5歳児)
24日	体育指導(幼児)
25日	親子観劇会(5歳児親子)
3月以降のスケジュール 3月 7日(土)園舎竣工式・見学会 3月14日(土)卒園式(5歳児)・6年生と20歳を祝う会 3月28日(土)父母の会総会・年度末懇談会(オンライン)	

お知らせ・お願い

◎育児相談

2ヶ月に1度、臨床心理士(高橋先生)が来園しています。育児についてやご家庭のこと、ご自身のことなど、様々な相談が可能です。お子さんの発達に不安な点がある場合にも、ご相談いただけますので事前に職員にお伝えください。

◎実習生について

2月9日(月)～24日(火)の期間で学生が保育実習に入ります

父母の会より

【父母の会からのお知らせ】

保護者の皆様、日頃より父母の会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。暦の上では春を迎えましたが、まだ寒さの残る毎日ですね。

先日の「大きくなった会」では、大きなステージでとびきりの笑顔で楽しめた子、とても緊張した子など、どの子も一生懸命に頑張る姿に、たくさんの感動をもらいました。

今年は0歳児のあひるぐみさんも一緒に参加することができ、自分の子ではないにもかかわらず思わず涙が溢れました。

私事ではありますが、我が子があひる組だった頃はコロナ禍の真っ只中。当時は保護者の観覧が叶わなかっただけに、今回こうして大きなステージに立つ姿を直接目にすることができ、感無量でした。

子どもたち一人ひとりに寄り添って温かく準備を進めてくださった先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

★大きくなった会のご報告

父母の会では、皆様からお預かりしている会費より、今年度も会場費用の一部補助を行いました。子どもたちの晴れ舞台をサポートできたことを嬉しく思います。

🍡節分のおみやげについて

節分の日、お子様が園で感じた季節の余韻をご家庭でも楽しめるよう、父母の会より「おみやげ」を配布いたします。

【おみやげ内容】

節分にちなんだお菓子

福豆&ぼうろ もしくは 福豆&おかき(年齢に合わせてお渡します)

【大切なお願い】

お豆については、お子様の月齢やアレルギーにより、ご家庭で提供されるかどうかのご判断をお願いいたします。安全に楽しく行事を味わっていただければ幸いです。

📅 今後の活動予定

今後のスケジュールをご案内いたします。

- 父母の会総会(全員参加)
 - 日時: 3月28日(土) 10:00~
 - 場所: 保育園(オンライン併用)
 - 備考: 総会は会員である保護者の皆様全員にご参加をお願いしております。当日ご都合がつかない方は、後日ご案内する「委任状」の提出をお願いいたします。

父母の会会長 森脇



【保護連からのお知らせ】

☆江戸川区認可私立保育園保護者連絡協議会（保護連）とは

- 江戸川区内の認可私立保育園に通園する子ども達の健全育成にむけて、保護者－保育園－行政の連携をはかるために発足されました。認可私立保育園に通園する保護者全員が会員となっています。（船堀中央保育園の父母の会とは別の組織です。）
- 定期的に役員会や講演会、他園保護者との交流を図る取り組みが実施されています。ご希望があればそれぞれの活動に参加が可能です。ご興味のある方は、園職員にお声かけください。

☆勉強会ご案内

ご参加希望の方は、園職員にお声かけください。

日時：2026年2月13日（金）

勉強会10:00～11:20

理事会11:30～12:00

場所：タワーホール船堀 瑞雲・平安

内容：

- ①勉強会「乳幼児期からの性教育について」講師 川口員理子 先生
- ②理事会

備考：参加可能人数に限りがあります。

未就園児のお子様を連れての参加も可能です。

☆今後の予定

- 2月25日 卒園を祝う 親と子の観劇会（年長対象/年長保護者参加必須）
- 3月理事会（年間活動の振り返り）

保護連担当 森脇

保育ページ

0 歳児クラス あひる組



1 歳児クラス うさぎ組



2 歳児クラス ひよこ組



0歳児クラス あひる組

先月の様子

福笑いに挑戦し、雪だるまを作りました。目や口の位置がわかり始めており、「ここ」と話したり指を差したりして保育者と一緒にパーツを貼り楽しみました。

保育者の手本を真似して「かーしーて」「ねー(まってね)」「どーぞ」と言葉や仕草で思いを表現する姿が増えました。顔を見合わせて笑いあったり、同じ玩具と一緒に遊んだり、友達との関わりが多く見られています。

目標

- 身の回りのことを保育者と行い、出来た喜びを味わえるようにする
- 保育士等の見守りの中で、友達との関わりを楽しむ

お楽しみ

- ボールを転がしたり投げたりして的当てを楽しもう
- リズム遊びやふれあい遊びを楽しもう

1歳児クラス うさぎ組

先月の様子

友達との関わりが増え、ごっこ遊びを通して「どうですか?」「これどうぞ!」などと店員になりきり保育者や友達との言葉のやり取りを楽しんでいました。

鬼のお面作りでは、クレヨンで髪の毛を表現するため、ぐるぐると曲線を描いたり顔の部位のシールを狙ったところに貼ることを意識して行ったりしています。完成すると「おにだー!」とお面を付けて喜ぶ姿が見られました。

目標

- こまめに鼻水を拭いたり、手洗いをしたりして感染症に留意しながら快適に過ごせるようにする
- リズム体操やサーキット遊びをして寒さに負けず遊ぶ

お楽しみ

- 節分の行事に参加し、鬼のお面を被りながら豆まき遊びを楽しもう
- ひな人形を作ろう

2歳児クラス ひよこ組

先月の様子

季節の制作では、だるまの福笑いに挑戦しています。ハサミの持ち方や糊の量などを保育者と確認しながら「にっこりしたおかおにする」「かっこいいかおをつくる」とお友達と表情豊かに表現していました。大きくなった会の練習では、音楽に合わせて体を大きく動かし、のびのびとダンスを楽しんでいました。曲が終わると「もういいかい!」と嬉しそうに伝え、踊ることへの期待を膨らませながら練習に取り組んでいました。

目標

- 感染症に留意し、健康に過ごせるようにする
- 簡単なルールのある遊びを通して友だちと関わりや、体を動かす楽しさを感じる

お楽しみ

- 鬼のお面を身につけ、豆まきを楽しもう

3 歳児クラス はな組



4 歳児クラス ほし組



5 歳児クラス つき組



幼児クラスの先月の様子

年明けのお集まりでは「あけましておめでとうございます。ことしもよろしくおねがいします」と新年の挨拶をしています。またけん玉や羽子板など正月ならではの遊びに関心を持ち、実際に遊んでみたり、遊び方を教わったりし楽しみました。

【はな組】

戸外では”ドロケイ”や”爆弾ゲーム”などの小集団の遊びを通し、体を動かして過ごしています。”ドロケイ”をする際には自分達で役割分担をしており、「にげろにげろ！」「こっちだよ！」と声を掛け合いながら寒さに負けず、戸外での遊びを楽しんでいます。

【ほし組】

太鼓の練習の際には「み・か・ん・やー！」「ぶ・ど・う」と友だちと掛け声を合わせたり、肘を伸ばして力強く鳴らしたりし楽しんでいます。また挨拶をする際には姿勢を正したり、パチを丁寧に扱ったりとメリハリを持って行っています。

【つき組】

よっちょれの練習の際には「どっこいしょ！」と気合を入れて掛け声を合わせたり、複雑な隊形移動を繰り返し行い、友だちと動きを合わせることを意識したりと日々一生懸命に取り組んでいます。活動のあとには「はっぴょうかいまだかな？」と話しており、保育園最後の発表会を楽しみにしていました。

目標

- 場面に合わせた挨拶が出来るようにする
- 相手の話を最後まで聞こうとする

お楽しみ

- 制作した鬼のお面を持って、鬼行列に参加しよう
- 散歩に出掛け月組との思い出をつくろう

こどもの目標

- 戸外では寒さに負けないよう、たくさん体を動かして遊ぼう

お知らせ

5歳児つき組：ハンカチ・ティッシュの取り扱いについて

小学校では、身の回りのことを自分で行う習慣として、毎日ハンカチとティッシュを身に付けて登校することになります。就学までに無理なく取り扱いに慣れていけるよう、2月よりハンカチ・ティッシュの携行を開始いたします。

【ご準備いただくもの】

- ハンカチ・ティッシュ 各1点
- サイズ：お子様の服のポケットに入るもの、もしくは移動ポケット(外付けポケット)に入るサイズ

【お願いと注意事項】

- デザインについて：ティッシュは、なるべくキャラクターものではないものをご用意ください。※お子様同士での交換や、紛失時のトラブルを未然に防ぐため、ご協力をお願いいたします。
- 記名について：全ての持ち物に、はっきりと記名をお願いいたします。

安全指導のページ ～safety guidance～

子どもの周囲の大人たちが安全な製品の選択、正しい利用により、子どもの身の回りの環境を整備して、対策を立てることで防げる事故もあります。明るく楽しい子育てと、毎日の生活のために、子どもを事故から守る正しい知識を身に付けていきましょう。

<1.2歳で増える事故について>

子どもが1～2歳を過ぎると増えるのが、歯ブラシがのどや口の中に刺さる「突き刺し事故」です。綿あめの棒など棒状の物も、同じような危険があります。この年頃の子どもは自立心が芽生え、何でも自分でやろうと挑戦しますが、大人と同じように危険を予知する力はありません。歯みがきや食事のときなど、大人が先回りして対策することで、子どもの挑戦が事故につながらないようにしましょう。

歯磨きは、虫歯予防やお口の清潔のために必要な毎日の習慣です。大人が仕上げみがきする前に、子どもが自分で歯ブラシを持って「シャカシャカ」するのも、成長の一コマです。特に、1～2歳になるとこどもの自我や自立心が芽生え、「自分でやる！」という主張も多くなるでしょう。

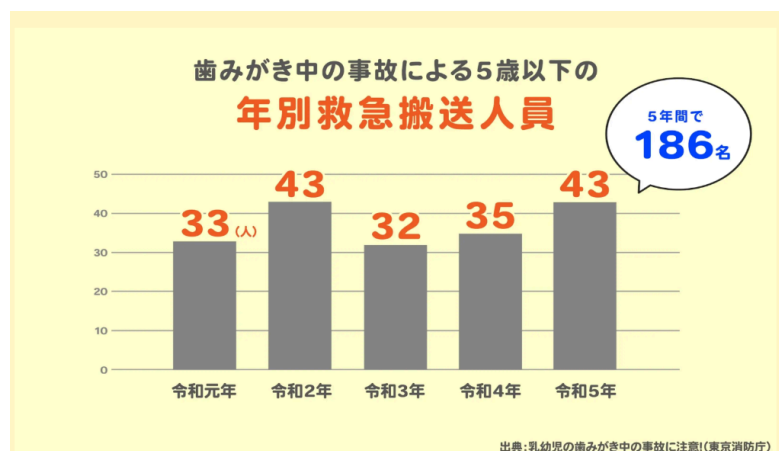
子ども自身の歯みがきは決して悪いことではありませんが、歯みがき中に歯ブラシがのどや口に突き刺さる事故は、決して珍しくありません。

歯ブラシの突き刺し事故には、さまざまなケースが報告されています。

- 歯みがきをしながら歩いていて転倒し、刺さる
- 布団の上で歯みがきをしていて、寝具が足にからまって転倒し、刺さる
- 仕上げみがき中に、ほかの子が保護者に抱きついてきて、歯みがき中の子に刺さる

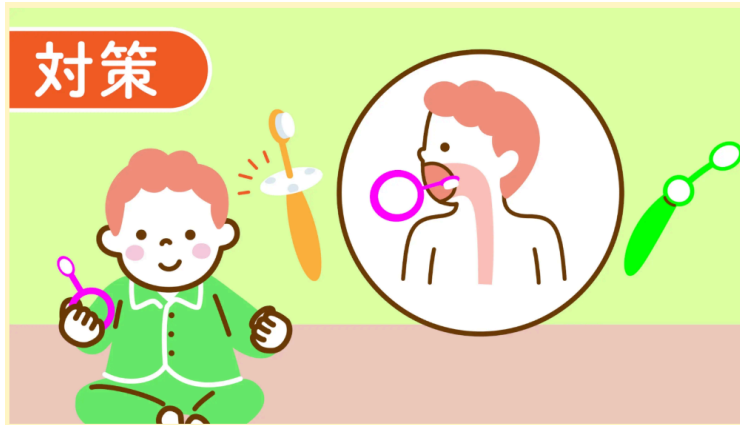


東京消防庁によると、都内では令和5年までの過去5年間に、5歳以下の乳幼児186人が、歯ブラシによるケガで救急搬送されています。中でも多いのが1、2歳児です。



【突き刺し事故を防ぐために】

- 子どもが自分でみがくときは、歯ブラシの柄が柔らかく曲がるもの、のどの奥まで入らないよう
- ストッパーが付いているものなど、事故防止対策が取られている歯ブラシを使いましょう
- 大人が目を離さないのはもちろん、子どもを床など安定した場所で座らせて歯みがきをさせましょう。



【歯ブラシの他にも】

綿あめの棒、フランクフルトや焼き鳥などの串なども、のどへの突き刺し事故の危険があります。自宅だけでなく、夏のお祭りの食べ歩きでの事故も報告されています

- 割り箸や串に刺さった食べ物は外し、お皿に盛るなど食べやすくしましょう。外した串などは子どもが触れないよう、すぐに手の届かない場所に片付けたり捨てたりしましょう
- 食事のときは椅子に座らせ、チェアベルトを着けて抜け出せないようにしてあげましょう。子どもが歩きながら食べることを防げるため、窒息予防にもなります。

【もしも刺さってしまったら必ず受診を】

歯ブラシなど棒状の物の突き刺し事故は、傷は小さく見えても、実は深く刺さっていて重症な場合もあります。刺さった物のかけらが見当たらず、「折れた衝撃でどこかに飛んでいったのかな」思っていたら、気づかないうちに体内に残っていたというケースもあります。

- 突き刺し事故があったときは、必ず受診しましょう。可能であればすぐに受診することが大切です。けがの状況にもよりますが、小児科や外科、耳鼻科などが担当の科になります。
- 歯ブラシや棒が刺さったままの状態の場合は無理に抜かないでください。すぐに救急車を呼びましょう。
「血が少ししか出ていないから／傷口が小さいから受診しない」などと、保護者が判断しないようにしましょう。首から上の部分は脳につながる血管や神経がある、大切な部位です。

「自分で歯みがきしたい」「自分で食べたい」と子どもが思うのは、成長の一環でいいことです。子どもの自立心を否定するのではなく、大人が危険を回避しながら挑戦を見守ったり、おいしい物を食べる時間を共有したりできるようにしましょう。

保健ページ

寒さが一段と厳しくなる時期となりました。2月は風邪や感染症が流行しやすい季節です。引き続き手洗いうがいなどの予防習慣を大切にしながら、子どもたちが安心してすごせるよう見守ってまいります。

先月の様子

健康教育～咳エチケットの話～

幼児クラスのお子さんたちを対象に、咳エチケットの話をしました。

ばい菌はどのように体の中に入っていくのかイラストを使って説明しています。咳やくしゃみのスピードと飛散距離を新幹線の速さにたとえたり、テープの長さで表したりしてイメージしやすいように伝えていきます。感染症が流行るこの時期に、自分だけでなく周りの友だちに移さないためにも「忍者のポーズ」で咳エチケットをすることが大事だと学びました。



そろそろ・・・花粉症の季節です

春の花粉症シーズンが近づき、園でもくしゃみや目のかゆみなど、花粉症と思われる症状が見られる子どもが増えてきています。花粉症は、花粉が多く飛ぶ時期に鼻や目、のどに様々な不快な症状が出るアレルギーの一種です。子どもの花粉症は低年齢化しており、1～2歳頃から症状が出始めるケースも珍しくなくなり、年齢が上がるにつれて患者数が増加しています。鼻づまりがあると集中力に欠けたり、口呼吸になることで夜間の睡眠に支障が出たりすることがあります。花粉が飛び始める少し前に受診すると比較的軽い症状で乗り切れる薬もありますので、かかりつけ医にご相談してみてください。

花粉症のチェックをしましょう

- かぜのような症状が長引いている
- サラサラした鼻汁(透明)がでる
- ひどい鼻づまりがある
- 目がかゆい(充血している)
- アレルギー体質の家族がいる
- 毎年同じ時期に同じ症状がでる

※上記の症状が2週間続くことがあれば、受診しましょう。

風邪との違い(かゆみの有無など)に注意し、黄色や緑色の鼻汁が続く場合は、副鼻腔炎の可能性もあります。

花粉症対策(家庭でできること)

外出時の対策: マスク着用、長時間外で遊ぶのを控える。上着は花粉が付きやすいウールやフリースは避け、綿素材を選ぶ。

洗濯物: 外干しを避け、部屋干しにする。柔軟剤を使い静電気を防ぐ。

調理ページ

先月の様子

新年お楽しみ会では、お正月ならではの食事や食材を紹介したり、実物を見せながら提供しました。子どもたちは、年末年始に食べたおせちで好きだった物や、七草ラップを口ずさみながら食べていました。



今月の献立について

厳しい寒さが感じられる時期になりました。2月は風邪やインフルエンザなどの感染症が増加する季節であるため、身体を温める事が大切です。園の食事では、ごぼうや蓮根などの根菜類、カブなど保温効果のある冬野菜を取り入れることで元気に過ごせる工夫をしています。また、柑橘類が旬の時期なので、デザートやおやつなどに取り入れ、さまざまな種類があることを子どもたちに伝えていきます。

節分について

暦の上では春になる季節。厄災を払い、福を招き入れようという願いを込めて豆まきをします。運気が良い方角を向いて食べる恵方巻には、七福神にちなんだ7種類の具材を巻いているそうです。今年の方角は“南南東”です。節分の献立では、鬼の金棒に見立てた金平やひいらぎいわしに由来して、鯛の蒲焼を提供します。

◆今年の節分は2月3日です◆

家庭でできる食育「ほうれん草ちぎり」

ほうれん草は寒い時期に育つ野菜です。寒さに当たることで甘くなり栄養が増えます。園では、食育の一環として「ほうれん草ちぎり」を行っています。自分で関わった食材に親しみをもち、食への興味に繋がるよう今後も食育活動を大切にしていきたいと思えます。葉と茎の違いを感じながら、ちぎる体験をお子さんと楽しみましょう。

給食人気献立のレシピ

「ほうれん草の納豆和え」

(材料)4人分
ほうれん草:50g
人参:50g
もやし:50g
納豆:1~2P

出し汁:小さじ1~2杯
薄口醤油(無ければ普通の醤油):小さじ1~2杯



- ほうれん草を下ゆでして、食べやすい大きさに切って水気を絞っておく
- もやしも下ゆでしておく
- 人参千切りしておく
- 出し汁と醤油を合わせ鍋に入れ、人参を軽く煮ていく
- 人参を2~3分ぐらい煮て火が通ったら、最後に納豆を入れ軽く混ぜる
- 4の鍋の具材が冷めたら、1のほうれん草を混ぜて完成